

## 出願書類等提出明細票

受験番号

※

志望する 専攻・プログラム	専攻 プログラム	氏名	
		本人連絡先 (電話番号)	

出願する書類等は、必ず確認のうえ提出欄に○印又は必要事項を記入し、本票を上にして提出すること。

なお、提出書類に不備がある場合には、受理しないことがあるので十分注意すること。(詳細は学生募集要項参照)

書類等の名称	提出欄	提出該当者						摘 要
		一般	現職	派遣	社会人	支援人材	留学生等	
① 出願書類等提出明細票 (本紙)		○	○	○	○	○	○	◎：全員要提出 ▲：摘要欄に該当する者のみ要提出 本学所定の用紙
② 入学志願票		○	○	○	○	○	○	インターネット出願サイトからダウンロードの上、A4用紙で片面印刷して提出すること
③ 卒業(見込)証明書		○	○	○	○	○	○	・原本を提出すること(コピー不可) ・日本語又は英語以外の言語で発行された場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付すること(様式自由)
④ 成績証明書		○	○	○	○	○	○	・原本を提出すること ・日本語又は英語以外の言語で発行された場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付すること(様式自由)
⑤ 面接調査書		○	○	○	○	○	○	本学所定の用紙
⑥ 心理支援に関する活動報告書			▲	▲	▲	▲		▲ 臨床心理学プログラム志願者は提出すること
⑦ 研究応用計画書			▲	◎				▲：教育協働研究プログラム志願者のうち「現職教員選抜」希望者 ・修了後の「研究応用計画」について、A4判用紙にワープロソフト等で和文2,000字程度にまとめ提出すること
⑧ 研究業績書 (著書・論文・研究報告書等)			◎	◎	◎	◎		本学所定の用紙(著書・論文・研究報告書等は別便で送付しても構わない。別便とする場合は、「提出欄」に「別便」と明記すること。)
⑨ 在職(期間)証明書		▲	◎		◎	▲	▲	・本学所定の用紙(所属長が発行した原本) ▲：学校、官公署、その他民間会社等に在職中の者で現職のまま本学大学院に入学しようとする者
⑩ 推薦書				◎				道府県教育委員会・指定都市等教育委員会が発行したもの(教育委員会から直接提出の場合には「提出欄」に「別便」と明記すること。)
⑪ 戸籍抄本等		▲	▲	▲	▲	▲		・各証明書等と現在の姓が異なる者のみ提出 ・改姓の事実が確認できる証明書を提出すること ・戸籍抄本等証明書の場合は原本を提出
⑫ 住民票		▲	▲	▲	▲	▲	◎	・外国籍の者は提出すること ・市区町村長の発行する証明書(国籍、在留資格、在留期間明記のもの)の原本を提出
⑬ 国費外国人留学生証明書		▲					▲	日本政府国費留学生は提出すること(原本)
⑭ 教育支援人材資格証明書						◎		本学所定の用紙(当該資格を認定した団体が作成した原本)
⑮ 教育支援活動従事証明書						◎		本学所定の用紙(従事(活動)している団体が発行した原本)

受付1	※	月	日	担当：	受付2	※	月	日	担当：
-----	---	---	---	-----	-----	---	---	---	-----

※印欄は記入しないこと。

## 面接調査書

受験番号

※

※印欄は記入しないこと

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

フリガナ		志望する専攻・プログラム	専攻プログラム
氏名			
生年月日	年 月 日生	出身大学	国立 公立 私立
年齢	2024.4.1現在（満 歳）	卒業年月	大学 学部 卒業見込 年 月
修士課程を構成する専攻・プログラム	入学後に予定している主たる研究領域 ※志願する専攻・プログラムの研究領域のうち必ず1つのみにチェックを入れること。 ※『東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）案内』「専攻・プログラムの教育研究の概要」又は本学修士課程ウェブサイト「教育組織・教員紹介」（学生募集要項4頁にURL記載）を参照のこと。		
次世代日本型教育システム研究開発専攻	<input type="checkbox"/> 地域研究 <input type="checkbox"/> 比較教育・教育史 <input type="checkbox"/> 日本語教育 <input type="checkbox"/> 次世代教育		
教育支援協働実践開発専攻	教育AI研究プログラム	<input type="checkbox"/> 情報AI <input type="checkbox"/> コンピテンシー・学校心理 <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（文化） <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（身体） <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（環境）	
	臨床心理学プログラム	<input type="checkbox"/> 臨床心理学	
	教育協働研究プログラム	<input type="checkbox"/> 生涯学習 <input type="checkbox"/> 文化遺産教育 <input type="checkbox"/> ソーシャルワーク <input type="checkbox"/> 生涯スポーツ <input type="checkbox"/> 多文化共生教育 <input type="checkbox"/> 表現教育 <input type="checkbox"/> アート <input type="checkbox"/> デザイン <input type="checkbox"/> 教育行政	
希望する指導教員（希望がある場合は記入すること）			
（主）		（副）	
入学志願理由			

## 【記入上の注意】

- 全て自署により記入することを原則とする。
- 「希望する指導教員」欄について
  - 指導教員の希望は、主・副とも、希望がある場合に記入してください。なおこの記入にあたって、当該教員の事前の了解は必要ありません。
  - 入学後の指導教員は、ここに記載された希望どおりとならないことがあります。また、この指導教員の希望や入学後の研究領域の記載は、合否には影響しません。

主指導教員とは：志望する専攻（選択するプログラム）の担当教員1名が主指導教員として、入学後の指導を担当します。

副指導教員とは：主指導教員が必要と認めた場合、入学後に所属する専攻（選択するプログラム）にかかわらず、他専攻（教職大学院を含む）担当教員1名に指導を依頼することができます。また、自専攻・プログラムの担当教員で、主指導教員になれない教員からの指導を希望する場合、副指導教員として指導を受けることになります。

## 【記入上の注意（臨床心理学プログラムのみ）】

- 臨床心理学プログラムについては、他専攻・プログラム担当教員を副指導教員とすることを認めていませんので、希望する指導教員の欄には臨床心理学プログラム担当教員のみ記入してください。（複数の名前を記入してもよい。）

大学在学中  
及びその後  
に行った研究

※文書による  
説明では不  
足する研究  
成果等があ  
る場合は、  
ポートフォ  
リオにまと  
めて提出す  
ることも可

研究テーマ

研究内容

参考

入学後研究  
したい事項

受験番号

※

※印欄は記入しないこと。

## 心理支援に関する活動報告書

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

フリガナ 氏名		
活動機関・身分	従事期間・日数	活動内容等
特記事項		
<p>上記のとおり相違ないことを申し立てます。</p> <p>年 月 日</p> <p>現住所 〒</p> <p>氏 名</p>		

1. 身分には、非常勤職員、ボランティア、見学参加等、当該活動を行った際の立場を記入すること。
2. 従事期間・日数については、開始年月～終了年月及びおおよその従事日数を記載すること。
3. 手書きにより記入し、記入欄が不足した場合は、本用紙を複写して記入し本用紙に添付すること。
4. 心理支援に関する活動経験のない者もその旨を明記し、提出すること。

# 研究応用計画書

受験番号	※
------	---

⑦

※印欄は記入しないこと。

※この書類は、「派遣教員選抜」を希望する者及び教育支援協働実践開発専攻教育協働研究プログラムを志望する「現職教員選抜」を希望する者のみ提出すること。

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

フリガナ 氏名	
生年月日	年 月 日生
研究主題	

参考

- (注) 1. これは研究応用計画書の表紙である。  
2. 研究応用計画書の本文には、修了後の研究応用計画を記載すること。  
3. A4判の用紙（縦置き横書き）を使用し、ワープロソフト等により和文で2,000字程度にまとめ、本表紙をつけてホッチキスで留めること。

# 研究業績書

受験番号	※
------	---

※印欄は記入しないこと。

※この書類は、「現職教員選抜」、「派遣教員選抜」、「社会人選抜」又は「教育支援人材特別選抜」を希望する者のみ提出すること。

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

フリガナ 氏名	志望する 専攻・ プログラム	専攻 プログラム
研究報告・論文，教育実践記録， 口頭発表，発表記録，競技記録， 表彰等の題目・名称等	発行，発表 実践の年月	発行所，発行 機関，発表雑 誌若しくは発 表学会又は競 技会等の名称
左記の研究報告・論文，実践記録等の概要 (200字程度)		
		

(注)

1. 共同執筆のものは分担執筆した部分を明示すること。分担部分が明確でない場合はその旨を明記すること。
2. 雑誌等の論文の場合は，雑誌名を論文タイトルの次に（ ）書きで記入すること。
3. 出願時に提出するものには○印をつけること。
4. 記入欄が不足した場合は，適宜別紙に記入し本紙に添付すること。
5. 本用紙（様式）にのっとり，ワープロソフト等で作成してもよい。
6. 研究業績等の無い者もその旨を明記し，提出すること。

## 在職（期間）証明書

受験番号	※
------	---

※印欄は記入しないこと。

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

フリガナ 氏名	生年月日	年 月 日生	志望する 専攻・ プログラム	専攻 プログラム
勤務先名			職名	
職務内容 (できる限り 詳しく記入 すること。)				
勤務形態	・常勤 ・非常勤(週 時間)	経験年月数	※	年 月
在職期間 (任期付き 期間除く)	年 月 日 ~		年 月 日	
休職 (休業) 期間	・無 ・有(有の場合は以下も記入すること。)	年 月 日 ~	年 月 日	
上記のとおり相違ないことを証明します。				
令和 年 月 日				
住所				
所属機関名				
所属長氏名				公印

(注) 1. 太枠内を志願者が記入し、他について所属長が記載する。所属機関が複数にわたる場合は、本紙を必要枚数コピーし、所属機関ごとに作成すること。

なお、公立学校教員で、学校長が人事記録等により履歴が確認できる範囲において、集約して在籍期間を証明することは差支えありません。

2. 3年以上の経験を有する現職教員選抜又は社会人選抜で受験を希望する者は、受験資格が確認できるように提出すること。(学生募集要項の7頁参照)

受験番号	※
------	---

## 教育支援人材資格証明書

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

フリガナ 氏 名	
生年月日	年 月 日生

資格の名称	
資格の概要	参考
取得年月日	

上記のとおり相違ないことを証明します。

年 月 日

住 所

認証機関名

責 任 者

印



## 教育支援活動従事証明書

受験番号	※
------	---

※印欄は記入しないこと。

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

フリガナ 氏 名			
生年月日	年	月	日生
団体名			
団体の目的			
従事内容	参考		
従事期間	年	月	日
～	年	月	日
	経験年月数	※	年 月
上記のとおり相違ないことを証明します。			
年 月 日			
住 所			
団 体 名			
責 任 者			
⑩			

(注意)

1. 太枠内を志願者が記入し、他について責任者等が記載する。なお、所属団体が複数にわたる場合は、所属団体ごとに作成し提出すること。